



2023年3月1日

各 位

会 社 名 株式会社しずおかフィナンシャルグループ  
代表者名 取締役社長 柴 田 久  
(コード番号 5831 東証プライム)  
問合せ先 経営企画部長 山本 規 政  
(TEL 054-261-3111)

## 第1次中期経営計画策定のお知らせ

しずおかフィナンシャルグループ（取締役社長 柴田久）では、2023年度から2027年度までの5年間を計画期間とする第1次中期経営計画を策定しましたので、概要をお知らせいたします。

### 1. 計画期間

- ・5カ年（2023年度～2027年度）

### 2. ビジョン

- ・第1次中期経営計画では、長期的な視点で地域の成長にコミットする「10年ビジョン」(※)と、新たな価値の創造を目指す「第1次中期経営計画ビジョン(5年ビジョン)」の2つのビジョンを掲げます。

※静岡銀行グループ第14次中期経営企画で掲げた「10年ビジョン」を継承

#### ▶ 「10年ビジョン」

地域の未来にコミットし、地域の成長をプロデュースする企業グループ

#### ▶ 「第1次中期経営計画ビジョン(5年ビジョン)」

未来へつなぐ新たな価値を創造する課題解決型企業グループ

### 3. 計画の考え方

- ・人口減少や高齢化といった社会構造の変化に加え、コロナ禍を経てデジタル化や脱炭素化など、産業構造を大きく変革させる動きが加速するとともにその幅が広がっています。これに伴い、価値観や行動様式も変わり、地域やお客さまが抱える課題やニーズも多様化、高度化しています。
- ・不確実性が高く過去の実績や経験から将来を予測することが困難な時代にあって、しずおかフィナンシャルグループでは、各社の自立（自律）と連携のもと、あらゆる課題の解決に一体となって取り組むことで、新たな価値を生み出し、地域とともに持続的な成長を遂げていくため、2022年10月に持株会社体制へ移行しました。
- ・新たな体制で臨む第1次中期経営計画は、以下の考え方で策定しました。

#### ▶ ステークホルダーに未来世代を追加

「地域」「お客さま」「役職員」「株主」に将来を担う「未来世代」を加え、地域の未来にコミットし、地域の成長をプロデュースしていく意思を示しました。

#### ▶ 社会価値と経済価値の両立

地域やお客さまの課題解決を通じた新たな社会価値の創造に向けた取り組みを通じて、地域と当グループ双方の持続的な成長を実現します。

#### ▶ 将来の目指す状態からのバックキャストで策定

「すべてのステークホルダーがサステナブルかつ幸福度が高まっている状態」を2030年度に目指す姿として定め、これを実現するための計画をバックキャスト思考で策定しました。

▶ サステナビリティ指標の設定

ビジョンの実現や社会価値・経済価値の向上度合いを計る指標として、サステナビリティ指標を導入しました。この指標は、すべてのステークホルダーの幸福度の向上につながる要素を含めています。

4. 基本戦略

・地域社会とせずおかフィナンシャルグループ双方にとって影響が大きい課題をマテリアリティとして抽出し、基本戦略の遂行により、マテリアリティの解決、サステナビリティ指標の達成を目指します。

(1) 地域共創戦略

・地域企業や自治体、スタートアップ等と連携し、地域ごと課題ごとにプラットフォームを形成します。その課題解決を通じて、地域の活性化、ひいては当グループの企業価値向上にもつながる好循環の創出を目指します。

(2) グループビジネス戦略

・従来からのコア事業領域に加え、既存ビジネスの深掘りや事業領域の拡大、新事業への挑戦を通じて、地域・お客さまの多様な課題やニーズを徹底的に解決します。

(3) トランスフォーメーション戦略

・デジタル技術やデータの活用により、顧客接点を表すタッチポイント、営業、人財、経費の4つの抜本的な改革を目指します。そして、企業風土である考え方や行動パターンの変革につなげます。

(4) グループガバナンス戦略

・持株会社体制下での企業統治体制を高度化し、グループ会社間のシナジー創出や経営資源の最適配賦などを通じて、上記3つの基本戦略の実効性を高め、サステナビリティ指標の達成につなげます。

5. サステナビリティ指標（社会インパクトは目指す指標、それ以外はコミットする指標）

	指標	2027年度目標
社会 インパクト	静岡県内人口の社会増減率	継続的に増加
	静岡県内実質総生産	持続的発展
	静岡県内の温室効果ガス排出量削減率	2013年度比▲46%（2030年度）※1
エンゲージ メント	お客さまのグループ取引満足度	前年度比プラス
	グループ役職員のエンゲージメント	4.0以上 ※2
	カーボンニュートラル（Scope1、2）	達成（2030年度）
健全性	連結 CET1 比率 ※3	13%以上
効率性	連結 OHR	55%程度
収益性	連結 ROE	6%程度
	連結経常利益	900億円以上

※1 2027年度▲38.2%

※2 しずおかフィナンシャルグループ役職員を対象としたエンゲージメント調査。グループの将来性、仕事・職場への満足度、多様な働き方などの項目に対する5段階評価の平均値

※3 バーゼルⅢ最終化ベース

以上